



ふきっ子

令和4年度 学校だより
令和5年3月9日発行
(2・3月合併号)

パラリンピアンがやって来た

オリパラ教育推進事業の一環であり、総合的な学習の時間のテーマ『福祉』を意識した取組を、本校4年生児童を対象に実施しました。

講師に、パラ・パワーリフティング選手で車いすユーザーの山本恵理さんをお迎えして、全員が楽しめる鬼ごっこのルールを考え、実践することにチャレンジしました。貴重な体験を通して、本校が目指す『誰とでも共生できる社会づくり』について学びを深めることができました。

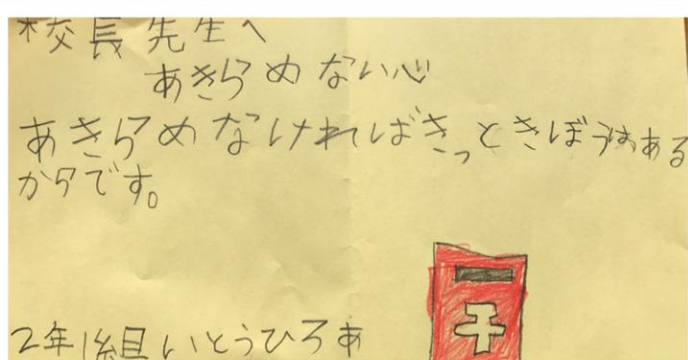


令和5年度 ふきっ子のミッションが決定！

全校児童及び教職員の厳選なる投票により、令和5年度のふきっ子のミッションは、2年1組伊藤大藍さんの作品『あきらめない心』に決定しました。

大人から与えられたミッションではなく、ふきっ子たちが自ら考え、応募し、判断して決定する主体性がとても立派でした。

4月からの新生活において、このミッションを意識して、自分磨きに挑戦するふきっ子の姿を期待します。なお、選ばれはしなかったものの、41点の作品応募がありました。どれも素敵な作品であり、応募する行動に感動しました。



トルコ・シリア支援募金への取組

「私たちの当たり前生活から何かできることをやりたい！」

そんな発起人の思いが学校を動かししました。

この思いの背景には、『他者意識』の存在があると感じています。

生きていることに対して、自分中心ではなく、他人に目を向け、他人の痛みを自分事として捉えることができる『こころの美しさ』が本当に素敵です。

ましてや、例年実施している委員会の募金活動や先生から言われて行う「やらされ感いっぱい」の活動ではなく、子どもたちが主体的に動き、働きかけた成果だと痛感しています。

だからこそ、子どもたちの本気度が違っていると感じました。集まった金額ではなく、募金箱に集まった『人の温かみ』がトルコ・シリアの人たちに必ず伝わると信じています。

